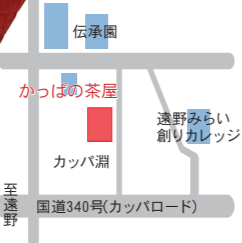


4月16日 土淵町の(株)遠野郷が「かっぱの茶屋」をオープン

地域を元気にする会社が発足



1_ 開放的な造りで、店外にも飲食スペースがあります 2_ 充実したお土産コーナーと細かいところまでこだわった、見た目も楽しめる「座敷わらしソフト」



土淵町の地域おこしを目的に発足した(株)遠野郷が、同町カッパ淵そばにカフェ「かっぱの茶屋」をオープン。訪れた地元住民らは、座敷わらしがモチーフの「座敷わらしソフト」などを味わい、新しい憩いの場を満喫しました。店内には地元の工芸品や伝統料理が並ぶお土産コーナーも設置。同社代表の留場和夫さん(土淵町)は「周囲の施設と協力しながら、地域に夢を与える事業をしたい」と期待を込めました。営業時間は10時～16時、不定休。

5月12日 遠野・水源の森づくりプロジェクト

遠野の水源地にミズナラを植樹

この活動は琴畑水源遊々の森で行われ、土淵小学校の4年生16人が参加。森林・環境学習の一環として、岩手南部森林管理署遠野支署とNPO法人遠野エコネットの指導のもとミズナラの苗36本を植樹しました。児童は、遠野の上水道の水源地を守るため一生懸命に作業。シカの食害対策カバーをかけて、苗木の成長を願いました。



丁寧に苗木のカバーを固定する児童

5月16日 遠野中学校で大運動会を無観客開催

熱気あふれる大運動会

大運動会は同校で行われ、遠野中学校と花巻清風支援学校遠野分教室中学部の生徒計362人が熱戦を繰り広げました。新型コロナウイルス対策のため保護者の観覧を規制して開催された中、生徒らは競技や応援を通して絆を深めました。運動会や体育祭は市内各地の小中学校で開かれ、元気な声があふりました。



全生徒でバトンをつなぐ全員リレー

市内3小中学校のALTに スペンサー・ターリーさんが着任

英語や外国の文化を教えるALT(外国語指導助手)のスペンサー・ターリーさんが着任しました。遠野中、遠野小、遠野北小の3校で4月から授業を開始。「遠野の子どもは

いつも笑顔で元気。生活の中で使える英語を教えたい」と意気込んでいます。

スペンサーさんは本市の友好都市である米国チャタヌーガ市出身。チャタヌーガの魅力を伝え、両市の友好関係も深めています。



丁寧に英語を教えるスペンサーさん

スペンサー・ターリーさん

平成11年に旧宮守村議会議員に当選して以来、通算6期19年余りにわたり、村・市議会議員として、地方自治の進展と地域の発展に情熱を注ぎました。在任中は、農林建設常任委員会委員長や産業建設常任委員会委員長などを歴任。企業誘致や放牧による畜産振興、道路網の整備、法人による集落営農の確立をしました。多田さんは「多くの人に教えを受け、背中を押された積み重ねで受章できました」と感謝しました。

旭日双光章

元遠野市議会議員
多田 誠一さん
75歳=宮守町宮守=



瑞宝単光章

各種統計調査員
菊池 正晴さん
70歳=青笹町=

昭和49年に岩手県農林業統計調査員を務めて以来、国勢調査や家計調査など、50回を超える統計調査に従事。個人情報保護の意識の高まりなどにより調査環境が厳しさを増す中、対象世帯への丁寧な説明と誠意ある対応を心掛け、地域住民と協力して正確・迅速に調査を行いました。菊池さんは「家族をはじめ支えてくれた皆さまに感謝。今後も調査、後進の育成などに貢献したい」と決意を新たにしました。

昭和50年に遠野市消防団に入団し、43年9カ月にわたり消防活動に従事。地域の安心・安全を守るために力を尽くしました。平成22年からは第七分団長、市消防団副団長の要職を務め、妥協を許さない熱意ある指導で地域の消防力向上に貢献。住宅用火災警報器の普及促進などの予防活動にも注力しました。奥寺さんは「消防団は一番身近な防災機関。今後は卒業生の一人として後方から支援したい」と思いを語りました。

瑞宝単光章

元遠野市消防団副団長
奥寺 榮一さん
69歳=青笹町=



黄綬褒章

郵便集配受託者
本宿 宏行さん
74歳=土淵町=

土淵町で稲作、葉タバコなどの農業を営む傍ら、郵便集配受託者として、昭和44年から50年以上にわたって郵便集配に従事。現在も約140世帯に配達しています。大雨や吹雪などの悪天候でも休まず、誤配達がないよう細心の注意を払う責任感を持ち、無事故無違反で誠実に郵便物を届けました。本宿さんは「職務を通して地域に住む多くの人とつながりを持てたことが何よりも嬉しい」と笑顔で語りました。

春の叙勲・褒章

長年の功績や日々の努力を实らせ、
栄光に輝いた皆さんをご紹介します。

勲章・褒章制度

国家または社会に対する功労者を称える制度。毎年春と秋に受章者が発表され、受章者は天皇陛下から勲章・褒章が授けられます。